

Title	地域プロスポーツクラブの社会的役割について：FC琉球におけるケーススタディー
Sub Title	The social role of local professional sports clubs : Case studies in FC Ryukyu
Author	光本, 裕紀(Mitsumoto, Hiroki) 岸, 博幸(Kishi, Hiroyuki)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2011
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	<p>今日の地域プロスポーツクラブは、人々が試合を通じて"強いクラブをみんなと応援する""地域との繋がりを高める"ということに触れることを価値として提供しているが、人々の興味関心の低下という課題を抱えている。</p> <p>この課題を解決するためには、地域プロスポーツクラブが社会貢献活動のような「道徳的效果」を創発する機能の強化を、ファン・サポーター、地域住民の意識や態度の変化に則した形で提示することが重要だと考える。</p> <p>地域プロスポーツクラブが社会的な役割を果たして価値を高めるために、全国区では著名に至っていないが地域と密着している一例としてFC琉球をケーススタディーとして取り上げた。</p> <p>本論文では、「地域プロスポーツクラブが道徳性をアピールし、活動に好感を持った人々が地域プロスポーツクラブを応援する」というスタイルを確立するため、ファン・サポーターに対するアンケート調査と、販売利益を「道徳的效果」を創発する活動へ還元するグッズの営業販売調査を通じ、地域プロスポーツクラブが「道徳的效果」を創発する機能を強化する仕組みの提案を行った。</p>
Notes	修士学位論文. 2011年度メディアデザイン学 第193号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002011-0193

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2011 年度 修士論文

地域プロスポーツクラブの社会的役割について
－ FC 琉球におけるケーススタディー －

光本裕紀

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

修士論文 2011 年度（平成 23 年度）

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士（メディアデザイン学）授与の要件として提出した修士論文である。

光本 裕紀

指導教員：岸 博幸 教授 (主指導教員)
 加藤 朗 教授 (副指導教員)

審査委員：岸 博幸 教授 (主査)
 加藤 朗 教授 (副査)
 古川 享 教授 (副査)

修士論文 2011年度（平成23年度）

地域プロスポーツクラブの社会的役割について - FC琉球におけるケーススタディー -

論文要旨

今日の地域プロスポーツクラブは、人々が試合を通じて“強いクラブをみんなと応援する”“地域との繋がりを高める”ということに触れることを価値として提供しているが、人々の興味関心の低下という課題を抱えている。

この課題を解決するためには、地域プロスポーツクラブが社会貢献活動のような「道徳的効果」を創発する機能の強化を、ファン・サポーター、地域住民の意識や態度の変化に則した形で提示することが重要だと考える。

地域プロスポーツクラブが社会的な役割を果たして価値を高めるために、全国区では著名に至っていないが地域と密着している一例としてFC琉球をケーススタディーとして取り上げた。

本論文では、「地域プロスポーツクラブが道徳性をアピールし、活動に好感を持った人々が地域プロスポーツクラブを応援する」というスタイルを確立するため、ファン・サポーターに対するアンケート調査と、販売利益を「道徳的効果」を創発する活動へ還元するグッズの営業販売調査を通じ、地域プロスポーツクラブが「道徳的効果」を創発する機能を強化する仕組みの提案を行った。

キーワード

地域プロスポーツクラブ メディア論 社会貢献
メディアデザイン スポーツマネジメント FC琉球

慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科
光本裕紀

Abstract of Master's Thesis Academic Year 2011

**The social role of local professional sports clubs
- Case studies in FC Ryukyu -**

Abstracts :

The value of today's local sport-for-pay clubs is to offer people opportunities to touch on "cheer for a strong club with other fans", and "raising relation with the area" through the games. But, there is an issue that people's interest on the sport clubs is declining.

It is necessary such local sport-for-pay clubs to demonstrate their morality to seek communities' support. One of the ways is to enhance clubs' external activities including social contribution and to demonstrate it in response to recent changes of their fans' and their areas' interest.

In this thesis, FC Ryukyu is picked as a case study. FC Ryukyu is one of the local sport-for-pay clubs which are yet to be famous but tightly coupled with the areas. It is proposed that a way to encourage "moral effect" of the local sport club to its community through a survey of its fans. Some effort to promote goods sale to the community is described as well.

Key word

Sport-for-pay clubs. Media theory. Moral effect.
Media Design. Sports Management. FC Ryukyu.

Graduate School of Media Design, Keio University
Hiroki Mitsumoto